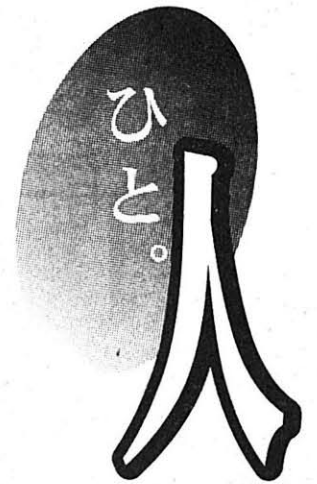




小室孝太郎さん＝松江市乃木福富町、小松電機産業株式会社内で

島根を描く漫画家

小室孝太郎さん



漫画家、小室孝太郎さん。旧邑智郡羽須美村（現邑智町）の歴史を描き、日本初の漫画村史となった「はすみ物語」（一九八四年、出版・理想都はすみ振興会）を皮切りに、「出雲伝説 弁

慶」（一九九三年、出版・平田商工会議所青年部）、「治水の英雄伝 周藤彌兵衛」（一九九五年、出版・人間自然科学研究所）、「治水の偉人伝 清原太兵衛」（一九九七年、出版・同）など、島根に関する漫画が多い。

一九四三年、神奈川県生まれ。宮城県で幼少期を過ごし、中学卒業と共に上京。十九歳の時に手塚治虫氏にアシスタントとして師事し、その後独立し少年漫画雑誌に代表作「ワースト」などを連載した。東京都在住。

「人生の半分は島根に関わっている」と冗談めかして語る小室さんは、手塚氏から教わった「小学四、五年生が一番楽しめる漫画づくり」がモットー。以前より出雲に興味があり、現在でもその歴史などについて調べているという。「弁慶」に

「周藤彌兵衛」「弁慶」など多数の著作

については、「大人になつてからの弁慶の物語は多数あるが、誕生から幼年期にかけての物語、漫画はこれだけ」と胸を張る。また、「周藤彌兵衛」「清原太兵衛」については、「よりわかりやすく伝えるために、昔の人の人物像を、現在の人物をモデルにして組み立てている」と言い、「（人間自然科学研究所理事長の）小松さんのキャラクターが多分に反映されている」と話す。古事記編さん千三百年については、「神話のことなど、全国、世界にPRできることはたくさんある。そのために入り口としての漫画は正解だと思う。どんどん島根から出して、伝えてほしい」とし、「島根の人の生真面目さが邪魔しているのかも。もっと気楽に取り組んでほしい」とエールを送る。